高校生の皆様からのご質問と回答

当日十分にお答えできなかったご質問に回答いたします。

Q1
高校生のうちに経験しておいた方が良いことはありますか。
ボランティアや勉強内容などについて教えてください。

A1
看護職はどの資格を取得して、どんな職場で働くとしてもコミュニケーション（対人関係）は避けられない職種です。高校生活では同じ年代の人と関わる機会は多いですが、色々な年齢層の人と関わる機会がもてるボランティアはよい経験になると思います。アルバイト等も実際に働いている様子を目でみてイメージできることは看護職になった時にいきる経験だと思います。
勉強内容については、専門学校や大学に入ってから全員が同時に学び始めるので、高校生のうちは、めいいっぱい学校生活を楽しむ、友人関係を学ぶ、先生等の目上の方との接し方を学ぶ事が重要だと思います。ただ、看護職になってからも勉強することは続きますので、自分の勉強しやすいスタイルは見つけておくと良いと思います。

Q2
看護師になって一番役立った勉強は何ですか。

A2
学生時代は、「形態機能学」が重要だと指導を受けてきました。実際に国家試験はもちろん就職してからも、基礎として備わっていると、疾患の理解を深めやすいと思います。個人的には学生時代の勉強が役立ったというよりは、就職してから勉強した心臓（循環器）、脳（脳神経）の学習が、現在非常に役立っていると感じています。

Q3
看護師になるには、文系理系どちらへ行くのがよいですか。

A3
受験や入学後の勉強を考えると理系が有利です。多くの学校で生物・化学・数学などの理系科目が求められるため、理系の勉強がそのまま受験対策につながります。

Q4
入試の面接ではどんなことを聞かれましたか。

A4
看護職を目指した理由、自身の長所・短所、成績を元に苦手分野やその克服方法などを聞かれた覚えがあります。

Q5
　看護学生時代の実習で大変だったことはどんなことですか。

A5
　私は、家に帰ってから翌日までに記録物に取り組むことが大変でした。私は、実習が終わると眠気で集中力が持たないタイプだったので、割り切って時間を決めて短時間仮眠をとって、頭をリセットしてから取り組み始めることが多かったです。

Q6
　新人看護師が苦労することは何ですか。
　最初に壁にぶつかりがちなことや、その乗り越え方を教えてください。

A6
　日々の学習：とにかくこれがとても大変だったと思います。毎日の業務も覚えることで精一杯でしたが、併せて病態や看護技術に関する予習復習もあり、それに追われていました。業務の中で使うメモを２種類（まとめる用、業務内での疑問をただ書き留める用）用意して、書き留める用のノートを毎日見返して疑問を解消するようにしていました。関連図なども有効だったように思います。
　夜勤：体調を崩す人が多いです。睡眠不足も続いて、いつも体調が悪く感じていました。休日は勉強する時と、休む時でしっかり分けた方がいいと思います。

Q7
　看護師になってみて、学生のときに思っていたイメージと違ったことはありますか。

A7
　生活を見る視点の重要性です。看護師は注射やバイタル測定など医療処置のイメージが先行していましたが、私は訪問看護師になって、特に、それだけではなく、それらを必要としながら［生活している利用者さん、家族］に焦点を当てて、望む生活とは何か、そこに近づく為に持っているニーズを捉え看護に繋げていくことが大切だということに気が付きました。

Q8
配属の科は、自分で決められるのでしょうか。

A8
私は、入職の前に第三希望まで提出しました。私の場合は、第三希望の部署に配属となりました。所属施設にもよるかと思いますが、私の所では毎年、希望調書は取られ、第三希望まで書くことができますが、人員の都合上、希望ではない病棟に配属させることもあるのが現状だと思います。

Q9
看護師でも具体的にはどのような分野の仕事がありますか。

A9
最も多いのは病院ですが、診療所、訪問看護ステーション、介護・福祉施設、企業・学校・行政等があります。最近では、企業ナースも増えてきています。

Q10
あまり知られてない、意外な場所で働いている看護師の具体的な職場の例を教えてください。

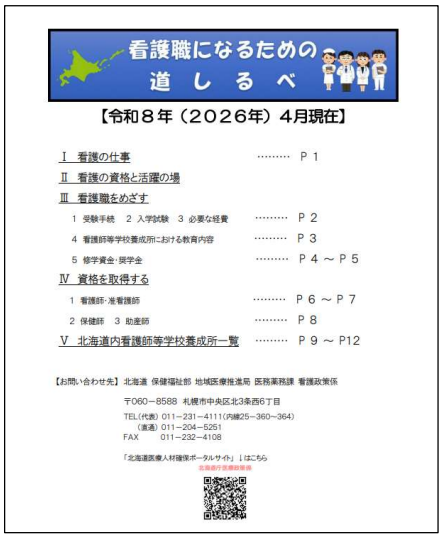
A10
看護師は病院や診療所だけでなく、さまざまな場所で活躍しています。例えば、企業の健康管理室では働く人の健康相談や健康管理、保育園では子どもの健康管理や体調不良時の対応、刑務所などの矯正施設では被収容者の健康管理や医療的な支援を行っています。また、クルーズ船やイベント会場などでの救護活動、海外協力活動、医療機器メーカーなどの企業で専門知識を活かして働く看護師もいます。このように、看護師は医療機関以外にも幅広い活躍の場があり、人々の健康と生活をさまざまな形で支えています。

Q11
あまり知られてない、意外な場所で働いている保健師の具体的な職場の例を教えてください。

A11
一般的にイメージしやすい保健師が働く職場は、「保健所」や「市役所」、「保健センター」、「地域包括支援センター」等の公的機関だと思います。その他の働き先だと、規模の大きい企業が職員の健康管理を目的とする「産業保健師」等があります。産業保健師は働く場所によって仕事内容は様々ですが、多くは定期的に企業で実施する職場健診等の結果を踏まえて保健指導を行います。職種によって健康課題が生じる内容は異なるので、職種への理解も必要になる仕事です。雇用人数は少ないことが多いのであまり知られていない職場だと思います。

Q12
夜勤のスケジュールを教えてください。

A12
当院は２交代制で、夜勤の勤務時間は 16 時 30 分から翌朝９時までです。休憩時間は１時間で、月の夜勤回数は 4～5 回程度です。


看護職になるための道しるべ

【令和８年（2026年）４月現在】

Ⅰ 看護の仕事 …… P１
Ⅱ 看護の資格と活躍の場
Ⅲ 看護職をめざす
１ 受験手続 ２ 入学試験 ３ 必要な経費 …… P２
４ 看護師等学校養成所における教育内容 …… P３
５ 修学資金・奨学金 …… P４～P５
Ⅳ 資格を取得する
１ 看護師・准看護師 …… P６～P７
２ 保健師 ３ 助産師 …… P８
Ⅴ 北海道内看護師等学校養成所一覧 …… P９～P12

【お問い合わせ先】北海道 保健福祉部 地域医療推進局 医務薬務課 看護政策係
〒060－8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL（代表）011－231－4111（内線25－360～364）
（直通）011－204－5251
FAX 011－232－4108

「北海道医療人材確保ポータルサイト」はこちら

参考資料　**看護職になるための道しるべ**
北海道のホームページ
（保健福祉部地域医療推進局医務薬務課看護政策係）

- 看護の仕事
- 看護の資格と活躍の場
- 看護職をめざす
- 北海道内看護師等学校養成所一覧

ご参加いただき、
ありがとうございました★

